



# シルバーながさき

第67号

シルバー人材センターのさまざまな活動を紹介！  
一緒に広報紙をつくりませんか？編集委員募集中！詳細はP12に



## 目次

P.2~3 新年あいさつ

P.4~5 会員座談会part 1

P.6~7 会員座談会part 2

P. 8 2024年イベント

P.10 健康マージャン・卓球教室

P.11 公式LINEアカウント





長崎市シルバー人材センター  
理事長  
本田 潔

新年あけましておめでとうございます。  
会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃よりシルバー人材センターの事業運営に多大なご理解とご協力を賜り、会員の皆様をはじめ、長崎市、長崎市議会、そして関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

昨年、「長崎スタジアムシティ」のオープンをはじめ、長崎駅周辺における新たな商業施設や「出島メッセ長崎」との相乗効果により、地域がさらに活気づく一年となりました。

さて、少子高齢化や人口減少が進展する中で、高齢者の一層の活躍が求められる「人生100年時代」を見据え、シルバー人材センターは高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、生きがいや居場所づくりを支援する場であるとともに、元氣な高齢者を増やしていくという重要な役割を担っております。

昨年は、運転業務以外での年齢制限撤廃や夫婦会員制度・ゴールド会員制度の新設を通じて、会員拡大、特に女性会員の増加や退会抑制に力を入れました。また、80歳を超えても安心して活躍できる就業環境の整備に取り組みとともに、デジタル化による業務効率化や、会員のデジタル技術向上の支援にも注力してまいりました。さらに、昨年施行されたフリーランス新法に対応し、取引の適正化や就業環境の整備も進めております。

また、昨年はランチ会やメイクアップセミナー、健康ストレッチ、もみじ巡りなどの「ハッピー講座」を通じて会員同士の交流を図ってきただころです。

本年は、講座内容などをさらに充実させるとともに、健康マージャン教室や卓球教室の開催を計画し、会員の皆様の楽しみづくりにも取り組んでまいります。

一方で、経営状況につきましては、定年延長などの影響もあり、当センターの会員数は年々減少傾向にあり、併せて受注件数も減少している状況です。この厳しい現状を打開するため、センターとして一層の改革に取り組みとともに、会員の皆様が安心して楽しく働ける環境づくりを進めてまいります。

生涯現役社会を実現する一翼を担う会員の皆様におかれましては、センターの現状と役割をご理解いただき、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りするとともに、本年が平穏で明るい一年となりますことを心より願ひ、新年のご挨拶とさせていただきます。



「笑顔と元氣が集まる  
センター」を目指して、  
職員一同全力で取り組んで  
まいります！



長崎市長  
鈴木 史朗

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人長崎市シルバー人材センターの皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から皆様方には、市政全般にわたる格別の御協力と御支援を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

さて、100年に一度のまちの変革を迎えている長崎ですが、長崎駅周辺では開発が進み、昨年10月には長崎スタジアムシティが開業しました。長崎市出身の福山雅治さんによるこけら落としライブなど、全国的にも大きな話題となり、長崎の魅力を発信できた年となりました。

さらに、本年はながさきピース文化祭2025（第40回国民文化祭及び第25回全国障害者芸術・文化祭）が開催されます。長崎市としても注目される更なるチャンスとして、取り組みを進めているところがございます。

一方で、本年、長崎市は全国よりも15年早く、65歳以上の人口がピークを迎える予測となっております、ますます、高齢者をはじめとする市民の皆様が、元気で健

かに暮らし続けられる環境の充実が重要となります。人生100年時代を迎える中、長崎市シルバー人材センターにおかれましては、働く意欲と能力のある高齢者の方々に就業機会を提供してきており、その取組みは、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進するだけでなく、現代社会の人材不足・人手不足の解消にも大きな役割を担うものです。

会員の皆様方におかれましても、「自主・自立・共働・共助」のシルバー人材センターの基本理念のもとに、生涯現役で活力ある地域づくりに寄与されることを期待しております。

長崎市といたしましても、皆様は健康で、生きがいを持って就業や地域活動ができるよう、今後とも長崎市シルバー人材センターの運営を支援して参りたいと考えております。

結びに、長崎市シルバー人材センターの今後ますますの御発展と、本田理事長をはじめ職員の皆様並びに会員の皆様にとりまして、本年が、いっそう輝かしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。



長崎市議会議長  
岩永 敏博

新年、あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

公益社団法人長崎市シルバー人材センターにおかれましては、本市の福祉行政の推進に一方ならぬご尽力とご指導を賜り、深く感謝申し上げます。また、日頃から地域福祉の担い手として重要な役割を果たされおられますことに、心から敬意を表する次第でございます。

さて、少子高齢化が急速に進むなか、これからの社会を明るく活力に満ちあふれたものにするためには、皆様は長年培ってこられた知識や経験を生かしていただける環境づくりが大変重要となっております。

このような中、シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様への職業紹介や就業機会の拡大促進に取り組まれるなど、高齢社会を支える中核的な組織として、高齢者の方の積極的な社会参加に大きく貢献されておられ、その役割は、今後ますます重要になってくるものと存じます。

会員の皆様におかれましては、これからもご健健で、地域社会の中核を担われ、豊富な経験と能力を活かしながら様々な場面で活躍いただきますようお願い申し上げます。

私たち市議会といたしましても、高齢者の皆様がいままでもお元気で、生きがいをもって生活ができるよう、行政とともに、各種施策の充実に全力で取り組み参りますので、今後とも、皆様方の温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、長崎市シルバー人材センターの今後ますますの御発展と、令和七年が本田理事長をはじめ職員の皆様並びに会員の皆様にとりまして、幸多い年でありませう心からお祈りいたします。新年の挨拶といたします。



会員座談会「シルバー人材センターの未来を語る」part 1

～どげんおもっとらす？～



令和6年を振り返り、座談会形式でお話を伺いました。

ご参加いただいたのは、島内副理事長、平川事業部会部会長、新屋舗公園管理班総括班長、川植木剪定班総括班長、岩松パソコン班総括班長の5名です。進行役の北嶋事務局長が、皆さんのセンターへの思いをお聞きしました。

(以下、発言者は敬称略)

【会員数を増やす工夫とは？】

【北嶋】今日はみなさん、集まっていたいただきありがとうございます！シルバー人材センターの活動について、皆さんの率直な意見を伺いたいと思います。

最初のテーマは「会員数を増やすための工夫」です。

【島内】令和6年は、様々な取り組みで大きく前進したのではないかと思っています。その中でも、「スマイルトウスマイル」という会員専用サイトの導入が大きな成果だと思います。導入によって、配分金の明細書やお知らせを郵送ではなくデジタルで提供できるようになりました。郵便料金が値上がりする中、経費削減にもつながっています。

ゴールド会員制度の導入も注目ですね。年会費を500円にすることで、退会する方を減らせるのではないのでしょうか。また、会員を紹介する制度もできて、実績も上がっていると聞いています。

【平川】やっぱり、大切なのは会員数ですよ。これがなければ、会として成り立っていないかと思えます。退会する方を減らすために、ゴールド会員制を導入したことは、私も良い工夫だと思います。



副理事長  
島内さん

以前から気になっているのは、会費未納が理由で退会される方が多いことです。事務所としても、会費未納の会員への対応を確実に行っていく必要があると思っています。

【川】植木剪定班では人手不足が深刻です。特に、定年前後の方が早めに加入してもらえないような取り組みが必要だと感じています。70歳を過ぎてからの入会では、体力や技術面でハードルが高く、現場での適応が難しい場合が多いです。新人が早い段階で現場に慣れるよう、働きやすい環境を作ることが重要だと思います。

【楽しむ場も大切】

【平川】仕事をするだけでなく、楽しめる場を増やすことも大事ですよ。センターに来る機会を増やしてもらえれば、他の会員の方と交流を持てる場ができるんじゃないかと思えます。例えば、麻雀や茶話会のような活動があれば、仕事をしなくても会員を続けたいという方が増えるのではないのでしょうか。

【北嶋】そうですね。会員は、「ハッピー講座」へ基本的に無料で参加できるので、来年は会員の交流の場が増えるよう講座の回数をもっと増やしたいと思っています。

【島内】夫婦会員制度はとても良い仕組みだ



事業部会部会長  
平川さん

と思います。この制度を活用することで、年会費の負担が軽減され、夫婦で一緒に活動するきっかけが生まれます。

たとえば、どちらかが興味を持った講座やイベントに夫婦で参加すれば、共通の趣味を楽しむ場になります。

さらに、家族での参加が増えることでセンター全体の活気にもつながります。夫婦が同じ場で交流を深められるのは素晴らしいことですし、こうした取り組みをもっと広めて、多くの方に参加していただけるような環境づくりを進めていきたいですね。

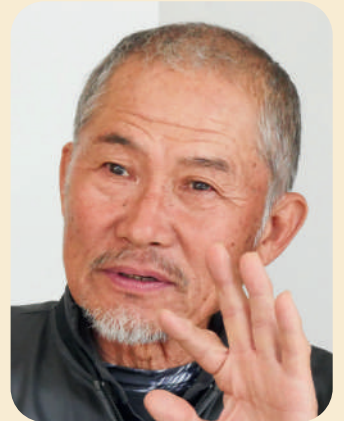
【現場での課題と工夫】

【新屋舗】公園管理班では、働きやすい環境を整えるためにコミュニケーションを重視しています。作業前に体調を確認し、メンバー間で声を掛け合うことで、安全に仕事を進める体制を作っています。70代の会員が増える中、無理なく仕事ができるよう、作業内容や手順を見直し、個々の状況に応じたサポートを心掛けています。

また、安全管理委員会の委員長の立場としては、70代の会員が多い現状を踏まえ、特に体力面での負担を考慮した安全対策が重要だと感じています。斜面作業や高所作業では体力の衰えが原因で事故のリス



公園管理班総括班長  
新屋舗さん



植木剪定班総括班長  
川さん

クが高まるため、無理のない範囲で作業を進めるよう指導しています。現場ごとのリスクを見極め、事前に対策を徹底していきたいです。

【川】新人を受け入れる際、現場でのフォローが重要です。経験豊富な会員がサポートに回りますが、技術を身につけるには時間がかかります。

また、新人が増えると担当者の負担も大きくなるため、作業の進行に支障をきたすことがあります。この点を改善し、作業効率を高める工夫が必要です。

【北嶋】班ごとに事情が違いますが、現場での工夫やノウハウを共有することで、お互いに助け合える仕組みができると思いますね。

【デジタル化が広げる可能性】

【岩松】パソコン班では、市役所の「スマホサロン」事業をきっかけに活動が広がっています。これは、スマホの基本操作や便利なアプリの使い方を地域での集まりで教えるもので高齢者の間で好評です。その結果、パソコン班の会員数も増え、2年前は17名だったのが、令和6年1月には30名、令和7年3月には約50名になる見込みです。

今後も地域のデジタルサポートを積極的に

行い、新しいニーズに応じていきたいです。

【新屋舗】それは素晴らしい取り組みですね！特にスマホが使えるようになると、仕事以外にも生活の幅が広がると思います。高齢者にとっては最初のハードルが高いかもしれませんが、講座をきっかけに身近に感じてもらえれば、今後の可能性が広がりますね。

【岩松】スマホの活用は会員同士の交流や情報共有にも役立ちます。たとえばLINEを使ったコミュニケーションを広めることで、連絡の利便性が向上します。

また、クラウドサービスの利用を含めたデジタルスキルを広げていくことで、今後の地域貢献の幅も広がると思っています。

【これからの目標】

【北嶋】みなさん、今日はありがとうございました。それぞれの現場での工夫や課題を共有できたのが大きな収穫でした。

これからは「楽しむ場」「働きやすさ」「デジタル化」を軸に、さらに充実したセンターを目指していきましょう！

広報なども工夫し、センターの魅力を伝える取り組みを進めていきます！



パソコン班総括班長  
岩松さん

会員座談会「未来のシルバー人材センターを描く」part2

～次世代へのバトン～



座談会第2弾は、小松除草班総括班長、浜都女性部会部会長、西川筆耕班班長、宮崎福祉・家事班総括班長、高谷襖・障子班総括班長の5名にご参加いただき、最初は、各班の課題や工夫について、後半は、会員同士の交流についてお話していただきました。（以下、発言者は敬称略）

【現場からの課題と工夫】

【北嶋】みなさん、本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

今回のテーマは「未来のシルバー人材センター」です。まずは、一年間を振り返って感じた課題や工夫について、お話しください。

【小松】除草班の課題はやはり人手不足です。班長会議でもこの問題を議論しましたが、なかなか解決策が見つかりません。新人がなかなか入らず、入ってもすぐ辞めてしまうのが現状です。特に夏場は作業が厳しく、体力的にきついと感じる方が多いようです。

そこで、令和7年は7月から9月の間、1日作業をやめて半日作業を2日に分ける案を考えています。これなら負担が軽減され、新人も続けやすくなるのではないかと思っています。

また、事故防止にも力を入れていきたいです。令和6年は刈払機での作業中に石が飛び、車2台に当たる事故がありました。こうしたトラブルを防ぐため、現場での指導を徹底していきます。

【宮崎】福祉・家事班は班の会員数は多いのですが、メンバー同士が顔を知らないこ



除草班総括班長  
小松さん

とが課題です。私自身、男性会員がいることを、一緒に仕事をするまで知らなかったです。

令和6年は10月にお掃除講習会を開催しました。福祉・家事班は、家庭内の清掃や食事の支度など一般家庭の家事援助が主な仕事なので、掃除の手順、コツ、利用者への対応の仕方などを学び参考になりました。あの日は帰ってから蛇口をピカピカにしました。プロの話聞くことで意識が高まり、行動も変わることを実感しました。

【西川】筆耕班は班としての活動が十分できなかったですね。認定委員会についても役員が揃わずに文書のやり取りで行いました。

筆耕班は横の関係がない仕事なので、令和7年度は会員の交流ができればいいなと思っています。

【高谷】襖・障子班も少しずつ縮小しています。以前は4班で10人以上でしたが、今は3班で7人になりました。仕事の依頼も減ってきています。

特に、襖や障子のある家自体が減ってきていることが原因だと思います。ベテランばかりなので仕事はうまくいっています。ただ、新しい人材を増やすのはどの班でも難しいですね。



女性部会部会長  
浜都さん

【小松】除草班も班単位で作業をするため、同じ班以外の方との交流が少ないですね。今後、交流を図っていききたいと思っています。

【交流を通じた会員拡大】

【北嶋】会員同士の交流が少ないとのことが出ましたが、次に、会員同士の交流や活動をどう広げていくかについてお話を伺います。

【浜都】シルバーの女性部員さんは、一人で仕事をされることが多いんですね。そうすると、仕事以外の楽しみが見つからないという方も多いんじゃないかと思えます。

第2の人生を楽しむために入会したのに、仕事だけだと寂しいですよ。だから、女性同士の交流を深める場をもっと作りたいです。みんなで楽しい企画に参加して、触れ合いながら新しい人生を楽しめる場になればいいなと思っています。

このため、シルバーは仕事だけじゃなく、人とつながる場としてもっと魅力を伝えていきたいです。「仕事をしなくてもいいけど、楽しみたい」という方にも参加して



筆耕班班長  
西川さん



福祉・家事班総括班長  
宮崎さん

もらえるように工夫したいですね。会員の輪を広げるためにも、シルバーのイメージを変えていけたらと思います。

【北嶋】ハッピー講座については、令和7年はさらに充実していただく予定ですが、講座だけではなく、健康マージャン教室や卓球教室など、多くの皆さんが楽しく参加できる場を新たに設けていきたいと考えています。

【浜都】年間500円の会費でシルバーのいろんな活動に参加できるゴールド会員の制度をもっとアピールしていったらいいかなって思っています。

【宮崎】長崎市からの委託事業として「乳児期家事代行サービス事業」の仕事が入り、福祉・家事班は活気づいたような感じがしています。仕事があって活き活き働く姿が、会員の増加につながっていいですね。令和7年2月には市の出前講座で「人生会議をしましょう」を開催します。今後の人生がより心豊かになるといいですね。

【技術の継承と未来への挑戦】

【西川】世代交代を見据えて、若い人を育て

ていくことが大切だと思っています。今後、実力向上のために研修会を開催して、賞状の全文書きができる会員を増やしていきたいですね。

また、会員に多くの仕事が行き渡るような仕事量があればうれしいですね。

【高谷】襖・障子班もベテラン中心ですが、これまでの技術を活かして、現状維持できるように努力しています。

【これからの目標】

【北嶋】本日は皆さんの貴重な意見を伺うことができて、大変有意義でした。

キーワードとして「交流」があったと思いますが、これからも「働きやすさ」「交流」「楽しさ」を軸に、シルバー人材センターをさらに魅力的な場所にしていきましょう。

また、それぞれの業種における技術の継承についても、事務局もサポートしていきますので、今後ともよろしく願います！



襖・障子班総括班長  
高谷さん

4月24日 ランチ会

参加者  
23名



理事長を囲んで  
「よひら」にて

5月23日 さるく

参加者  
16名



面白ガイドの案内により  
グラバー園を楽しく散策

6月12日  
メイクアップセミナー

参加者  
20名



メイクのアドバイスで  
魅力再発見

6月15日 定時総会

出席者  
131名



市民会館文化ホールにて  
総会後に楽しい抽選会を初開催!!

7月24日  
健康ストレッチ

参加者  
23名



大人気の先生!!体の隅々  
まで伸ばして筋力アップ

9月13日・11月9日  
ボランティア活動



9/13 参加者25名  
滑石平宗公園の剪定・除草  
11/9 参加者31名  
浦上川河川敷の除草・清掃

10月2日  
お掃除講習会

参加者  
19名



お掃除のプロから  
掃除の仕方を伝授

10月23日 出前講座

参加者  
10名



テーマ「良い睡眠で  
こころの健康づくり」

11月23日 もみじ巡り

参加者  
17名



迎仙閣を散策  
一般開放は2日間のみ

12月9日 フラワー  
アレンジメント

参加者  
24名



アロマの香りのする  
素敵なリース作り

# 2024年 イベント

たくさんのイベントを楽しみました!



就業年齢の制限を撤廃（運転業務を除く）

公共の継続業務における空白期間を短縮（3年間↓6月間）

高齢化が進む中、より多くの会員の皆さんに就業の機会を提供できるように、年齢制限の見直しを行うこととしました。車を使用する業務については年齢要件を維持しますが、それ以外の業務については年齢制限を廃止しました。

また、公共の継続業務においては、5年間の就業期間終了後、3年間の空白期間を設けていましたが、これを6か月間に短縮することとしました。

これにより、会員の皆さまが継続して就業しやすくなるだけでなく、退会の抑制にもつながることを期待しています。今後、より多くの方に就業の場を提供できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度安全標語の募集

令和7年度の安全標語を募集します。

〆切・令和7年1月31日  
提出先・事務局まで

令和6年度の安全標語

『安全第一 皆でやろう』

危険予知

令和7年度定時総会

令和7年度の定時総会の日時をお知らせします。今回もワクワク抽選会を実施予定です。どうぞご参加ください。

日時・令和7年6月21日（土）

13時30分

場所・長崎市民会館文化ホール

刈払機での飛び石事故に注意！

令和6年度に入り、事故発生が多くなっています。特に、除草作業中の刈払機での飛び石事故がおきています。

飛散防止ネットを正しく設置して作業してください。

また、次の事項も徹底してください

- ・ 剪定作業では、保護帽（ヘルメット）の装着を徹底
- ・ あご紐はしっかり締め、ぐらつかないように着用
- ・ 脚立・足場板を使用する場合は、墜落制止器具（安全帯）の装着も必須

「安全な草刈り作業のために」の動画が全国シルバー人材センター事業協会のホームページからご覧になれます。



全国シルバー人材センター  
事業協会「安全な草刈り作  
業のために」の動画は

こちら⇒

アンケート調査のお礼とご報告

令和6年8月に、会員の皆さまを対象にアンケート調査を行いました。ご協力いただき、ありがとうございます。

アンケートでは、長崎市の委託事業「乳児期家事代行サービス」や、他地域のシルバー人材センターで実施されている高齢者向け「ワンコインサービス」に関して、「やってみたい」というご意見が多く寄せられました。

また、高齢者福祉施設やホテル業界など、人手不足が課題の業務についても、「挑戦してみたい」という声をいただきました。

これらのご意見を踏まえ、今後はこれらの分野での就業機会を広げる取り組みを進めてまいります。

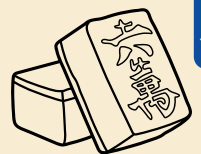
さらに、センターの活動についてお伺いしたところ、「健康マージャン」や「卓球」の教室を希望される声が多くなりました。

そのため、令和7年度からは、これらの教室を開催する予定です。ぜひお楽しみにお待ちしております！



健康マージャン教室の開催

長崎県麻雀段位審査会  
講師・白石晃一先生



上記に記載したように、今回、アンケート調査の結果を踏まえ、白石先生を講師に迎えて健康マージャン教室を企画しました。

経験者はもちろん、初めての方も基礎から学べますので、お気軽にご参加下さい。

お待ちしております！

1 月日 令和7年1月27日（月）

2 時間 13時30分から

(約2時間)

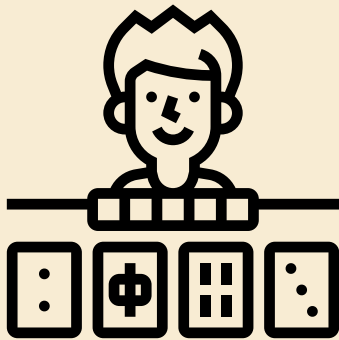
3 場所 (公社)長崎市シルバー人材

センター

長崎市岡町2-13

4 参加費 無料

5 定員 20名（先着順）



サークル活動始めます！

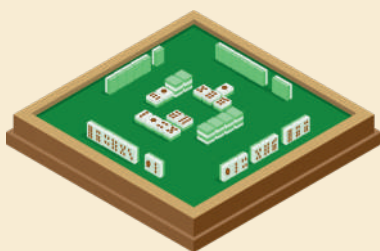
健康マージャン教室・卓球教室

アンケートで会員の皆さんの要望が多かった活動のうち、令和7年度は「健康マージャン教室」と「卓球教室」を始める予定としています。

開始する時期や日程などは、Smile to SmileやLINEなどであらためて皆さんにお知らせします。

今後も「笑顔と元気が集まるセンター」を目指して、サークル活動を増やし、皆さんが楽しめる場を増やしていきます。

ご期待ください！



公式LINEアカウントのお知らせ

長崎市シルバー人材センターの公式LINEを開設しました！

お仕事情報や講習会の案内などお得な情報を配信します。

最新情報を随時発信していきます。ぜひ、登録してください！



このQRコードを読み込んでください



公式インスタグラムのお知らせ

公式インスタグラムも開設しました！

シルバーの活動状況を随時発信していきます。公式LINEとあわせて登録をお願いします！



このQRコードを読み込んでください

県内の市町シルバー人材センター職員協議会を開催しました！

県内の市町センター職員約30名が集結！

令和6年11月28日(木)、29日(金)の2日間、県下の15市町シルバー人材センター職員約30名が参加し、長崎市シルバー人材センターで職員協議会を開催しました。

各センターの職員同士の連携を図っていくことと県内の各市町のシルバー人材センターの職員のキャリアアップを図ることを目的としています。

一日目は、八代市シルバー人材センターの松村常務理事を講師にお迎えし、「シルバー人材センター職員としての心構え」について講演していただきました。

初日の夜は、松村常務を交えて意見交換会を行いました。どのテーブルも賑やかな雰囲気の中、お互いのコミュニケーションが図られました。

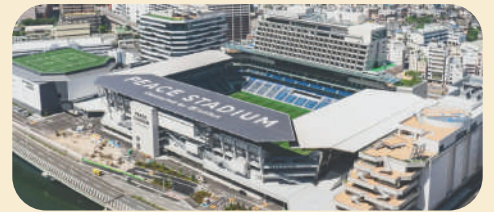
二日目は、各市町のセンターから提出された議題について、5つのグループに分かれて議題協議を行いました。前日の意見交換会で打ち解けたこともあり、活発な議論が行われていました。

職員のキャリアアップやセンターの活性化に、このような職員協議会がとても有益でしたので、来年度以降も実施していくこととしています。



はじめての体験！『スマホでかんたん決済』

今をときめく「長崎スタジアムシティ」で  
キャッシュレス決済に挑戦してみませんか？  
もう「現金、使えません」も怖くない？!



日時：令和7年1月17日(金)  
10時～12時

場所：長崎スタジアムシティ  
ガラケーの方もご参加できます。  
スマホ・ガラケーをお持ちでない  
方も参加できます。

人数：20名

参加費：1,000円

注意：お買い物をする場合などは  
各自でお支払いください。

集合場所：NORTH（ノース）  
オフィスビル2階  
インフォメーション前

申込先：お電話で事務所まで！



広報編集委員を募集しています！

一緒に「シルバーながさき」を作りませんか？  
イラストが描ける方待ってまーす！

会員の皆さんが自ら「シルバーながさき」を作成するのが最終ゴールです。

第67号の新年号から竹村さん、大町さん、里さんの3名の会員さん  
に加わっていただき編集しています。

特に、イラストが描ける方大歓迎です。

取材する方や記事を書く方もお待ちしております。



編集後記

「シルバーながさき」の新しい姿、気づいて  
いただけましたか？

前号からバージョンアップした広報紙、今回は  
新年号としてさらに進化を目指しました！

表紙には、ボランティア活動に参加いただいた  
会員の皆さんの笑顔があふれる写真を、また、  
部会長や総括班長さんには、座談会形式で  
センターへの思いを語っていただきました。

今回、皆さんが日頃考えていることを知る良  
い機会となりましたので、今後も職群班を超え  
た意見交換の場を設けていきたいと感じまし  
た。事務局としては、その思いをどうみなさん  
にお伝えし、センターの活性化に繋げていく  
か、身が引き締まる思いです。

今回から、新たに3名の会員さんが広報編集  
委員として参加してくださいました。次号か  
らは皆さんのお力をさらにお借りして、もっと  
素敵な「シルバーながさき」をお届けできると  
思います。どうぞお楽しみに！

こんな情報載せてほしいなどご要望があれば、  
お気軽にお寄せください。

広報活動の活性化だけでなく、制度の充実や  
余暇活動の取組みも進めています。

令和6年は、新しい会員制度をスタートし、  
特に女性会員が増えたことで、センターがさら  
に活気づいています。

少しずつ新しい取組みを増やし、皆さんが  
毎日通いたくなるようなセンターを目指してい  
きます！（K）



北嶋



吉住

編集・発行

公益社団法人

長崎市シルバー人材センター

[所在地] 〒852-8115 長崎市岡町2番13号

[メール] [nagasaki@sjc.ne.jp](mailto:nagasaki@sjc.ne.jp)

[サイト] <https://webc.sjc.ne.jp/nagasaki/> ホームページ

